

全労金2022春季生活闘争ニュース・第37号

～めざそう賃金改善！進めようジェンダー平等！団結しよう、みんなの春闘！～

《合意速報No. 13》

北陸労組が金庫との団体交渉で、「基本合意」を表明しました！

北陸労組は、3月17日15時20分から、金庫と「団体交渉」を開催し、基本合意を表明しました。要求と回答は以下の通りです。

	要 求					回 答				
	正職員	一般職	嘱託職員	臨時職員	再雇用 嘱託職員	正職員	一般職	嘱託職員	臨時職員	再雇用 嘱託職員
基本賃金	考課反映 300～700円	考課反映 300～700円	1,500円	時間額10円	—	応じられ ない	応じられ ない	要求通り	要求通り	—
一時金	4.2	4.2	4.2	4.2	2.0	4.1	4.1	4.1	4.1	応じられ ない
昨年実績	4.05	4.05	4.05	4.05	—	4.05	4.05	4.05	4.05	—
安定雇用	無期転換	(実現)				(実現)				
	登用制度	(実現)				(実現)				
最低賃金	時間額1,010円、日額7,410円、 月額155,500円への引き上げ					要求通り 時間額1,010円、日額7,410円、月額155,500円				
雇用環境	私傷病休職	—	—	協議で解決	—	—	—	協議で解決	—	—
	育児時短	協議で解決				—	協議で解決			
	ハラスメント	(実現)				(実現)				
単組独自要求	—	退職金の改善	—	—	—	—	要求通り	—	—	—

《金庫の発言概要》

- 要求書提出日以降、少数交渉等にて鋭意検討を重ねた。本日、回答書を渡し、執行部として受け取る判断をしていただき、中央闘争委員会で提案して欲しい。
- 労組からの要求について、最低賃金は要求通りであると思うし、退職金制度の改善についても、歪な部分を是正するというので、我々も意に沿った内容で回答させていただいた。
- 基本賃金の改善や再雇用者の一時金については、人事制度委員会で検討中であり、労金業態全体で65歳までの定年延長制度も検討されている。次年度、人事制度委員会で議論し、双方納得のいく制度が確立されれば良いと考えている。
- 最大の争点となった年間一時金について、要求に対して、金庫として精一杯の回答として、昨年よりも0.05ヶ月の上積みする 4.1ヶ月とさせていただきたい。組合

員の期待に応えたいという気持ちはあるが、今年度も物件費の削減等で当期純利益の確保となっているが、2022年度を見越す時に、非常に厳しい見通しを持たざるを得ない状況であり、4.1ヶ月という回答について理解いただきたい。

《村上闘争委員長の発言概要》

- 要求書提出以降、労組の要求に対して真摯に向き合い、本日を含め計14回の交渉を通じて要求項目に対する検討を重ねていただいたことに感謝申し上げる。
- 交渉では金庫の置かれている現状と2022年度以降の収益見通しを労使で共通の認識としたうえで、金庫を存続させ、自分たちの職場と労働条件を守っていくため、一人ひとりの職員がそれぞれの持ち場でさらなる努力をしなければならないことを改めて実感している。
- 厳しい環境の中で、お互いの合意点を見いだすことが難しい局面が続いたが、①嘱託職員・臨時職員の基本賃金の改善、②最低賃金の引上げ、③一般職の退職金制度の改善要求に対して、満額となる回答が示されたことは、私たちの要求に対して誠意を持って応えていただいたものと受け止めている。
- 年間一時金については、私たちの要求主旨と想いを最大限尊重いただき、次年度の奮起への期待を込めた水準を示していただいた。闘争委員会は受け取った回答書に込められた金庫のメッセージを組合員に伝えていく責任があると考えており、3月22日に開催する中央闘争委員会で妥結收拾を提案する予定である。
- 「私たちが働く北陸労働金庫をより良い組織にしたい」という思いは、すべての役職員が共通して願っていることに疑う余地はない。しかし、より良い組織は「誰かが創ってくれる」ものではなく、一人ひとりが当事者意識を持って、役割を発揮し、それぞれの持ち場で正すべきところは変えていかなければならない。労組役員は、このことを職場の組合員に発信するとともに、組合員の声に耳を傾けながら、組織運営や労使協議での意見反映を行っていきたい。引き続き、労使が一体となって難局を乗り越えていくことをお願いし、挨拶とさせていただきます。

単組は、①次年度に対する職員の奮闘への期待を込めた上積みを含む回答が示されたこと、②最低賃金と退職金制度の改善が要求通りとなったこと、③再雇用嘱託職員に関して、「再雇用者の雇用（業務・処遇等）のあり方」の協議に応じる考えが示されたこと、等から基本合意を表明しました。

*合意単組（10単組／3月17日19時30分現在）

沖縄・北海道・長野・近畿(金庫)・近畿(関連)・新潟・東北(金庫)・東北(関連)
セントラル・中国(金庫)・中国(関連)・中央・北陸

以 上